

横浜地域連合第31回定期総会レポート

於 ワークピア横浜

時間 14:00~16:30

記載者 SBSF、S労組 櫻井 健一郎

議長団開会宣言後、高橋 卓也議長より挨拶がありました

コロナ禍に於いて、困難な各構成産別の活動取り組みや第49回衆議院議員選挙対策要請に対して、謝意が述べられました。続き、来賓である連合神奈川 吉坂 義正会長より、現在、コロナ禍での社会的弱者に対して貧困格差の露呈、組合組織率の低下に懸念。組織編成について今後は、産別の枠を乗り越えて「思い」を一つとし、全員で今後の組織拡大強化に向けて取り組むとの挨拶がありました。

各議案に関しては、滞りなく承認、可決され、第5号議案では、高橋 徹地域連合副議長から会場に響き渡る総会宣言が発表され、承認されました。

閉会の挨拶では、高橋 卓也議長より、「やる、やらないではなく、やる為にはどうしたら良いのか実行を伴う努力をしていく！」と、力強い閉会挨拶で締めくくりました。

今回は、定期総会という場所でもあり、間隔を空けての議会だったので、他産別の方々との交流はありませんでしたが、産別問わず組織拡大に対する人員不足の懸念が伺えました。

来賓予定だった山中市長は、コロナ対策の為、メッセージ参加だった事を追記します。

